

令和4年度 第2回大東市DX推進本部会議 議事要旨

日時：令和5年1月31日（火）午後0時50分～2時00分

場所：オンライン会議

出席：東坂市長、水野教育長、松本上下水道事業管理者、
中村危機管理監、東政策推進部長、北田総務部長、木村市民生活部長、
青木福祉・子ども部長、野村保健医療部長、南野都市整備部長、
北田産業・文化部長、北本教育総務部長、伊東教育政策部長、竹中議会事務局長、
辻本選挙管理委員会・公平委員会・監査委員事務局長、
岡田上下水道局長、田川会計管理者

（事務局）

田中政策推進部総括次長、川口行政サービス向上室長、
清水行政サービス向上室課長補佐、神原（DXコーディネーター）、
白井（行政サービス向上室）

（DXワーキングチーム（総合窓口グループ））

谷口課長補佐（市民課）、廣田上席主査（戦略企画課）

（DXワーキングチーム（スマートワークグループ））

中嶋課長補佐（総務課）、堀田主査（公民連携推進室）、富田（戦略企画課）

【次第】

- 次第1 DXワーキングチームの活動内容等について
- 次第2 窓口の在り方について（今年度のワーキングチームの取組報告）
- 次第3 ペーパーレス化の推進について（今年度のワーキングチームの取組報告）
- 次第4 DXワーキングチームのその他の活動（人流分析ツールのトライアル検証結果報告について）
- 次第5 その他

【次第1について】

令和4年度のDXワーキングチームの活動内容について、資料に沿って事務局から説明。

（概要）

・令和4年度DXワーキングチームの概要、メンバー（21名）、「総合窓口グループ」及

び「スマートワークグループ」のそれぞれのスケジュール等について説明。

【次第2について】

窓口の在り方について、DXワーキングチーム（総合窓口グループ）において検討を行った内容を、リーダー及びサブリーダーから資料に沿って説明。

（概要）

- ・実際に市民役を設定して実施した窓口の現状調査の様子、調査を通して気付いたことや感想等について。
- ・目指す窓口のコンセプトは、「行かず 待たず 書かず 歩き回らず」
- ・すぐにできる解決策として、電子申請システムの活用、市民課に導入済みの予約優先制の拡大、本庁舎と出先機関をテレビ電話で繋ぐ、入力用データの作成及び省力化、おくやみコーナーの検討など。
- ・5年後の窓口の在り方として、手続きコンシェルジュブース、チェックインカウンターの設置、リモート窓口。オンライン申請を拡大するための施策の実施。
- ・20年後は、一部の部署以外は、全てバーチャルで完結する世界も想定して検討。

（主な意見）

- ・市民課の予約システムについて、他課にも拡大していければと思う。空き状況も分かるようになればより良いと思うので、今後の検討課題とする。
- ・マイナポータルによるびったりサービスにおいて、介護関係の申請などの準備も進めているところなので、今後より市役所に来庁しなくともできる手続きが増えることで便利になればと思っている。
- ・窓口の在り方については、もう市役所的な窓口というのはすでに時代遅れになっていると思う。DXの進展というのは、日進月歩。情報をしっかりと取捨選択しながら、ここにいる全員がアンテナを高く張って、活用できる技術、テクノロジーが自分の仕事やライフスタイルを助けてくれるという発想で、どんどん取り組んでほしい。

【次第3について】

ペーパーレス化の推進について、DXワーキングチーム（スマートワークグループ）において検討を行った内容を、リーダー及びサブリーダーから資料に沿って説明。

（概要）

- ・検討内容を「大東市ペーパーレス実践ガイドブック」としてまとめている。
- ・ペーパーレス化を推進する目的、具体的な実践方法を示した。
- ・個人文書量、組織文書量それぞれについて、今後の年度目標値を設定。
- ・実践方法として、整理整頓タイムの設定、庁内におけるフォルダ体系やファイル名の統一、管理場所の確認など。
- ・また、データ活用の方法として、ペーパーレス会議やオンライン会議、テレワーク、

フリーアドレスなどを推進し、時間や空間にとらわれない働き方についても合わせて議論していくことを記載。

(主な意見)

- ・ファイル名や保管場所など、庁内統一のルールとしてきっちりと決められているので、自身も若い職員の考えについていけるようにしっかりと推進していきたい。
- ・実際にワーキングチームメンバーでも取り組んだところ、結構な文書量の削減ができたことを実感できたので、まずは少し時間を取って、紙文書の削減や電子化にトライしてみしてほしい。
- ・デジタルのメリットと、書くということの威厳、どちらかを捨てるのではなく両立しながら、市役所業務の在り方について、慎重に丁寧に考えていって、市民の目線に立って進めていければと思う。
- ・ガイドブックの作成に当たって参考にさせていただいた東京都中野区は、非常に前向きで、DX自体が進んでいる。本市でも、全庁的にこういった形でペーパーレスの推進を示すことの効果は大きいと考えている。

【次第4について】

DXワーキングチームを中心に実施した人流分析ツールのトライアル検証結果について、DXワーキングチームメンバーから資料に沿って説明。

(概要)

- ・導入検討経過、トライアルを行ったツール、実施概要について説明。
- ・検証は、令和4年9月～10月において、8課で実施。
- ・コミュニティバス路線周辺地域の行動分析、イベント来訪者の属性分析など。
- ・人流データのニーズは確認できたが、活用方法やツールの有用性については検討が必要であることから、今後はより導入効果の高い手法や内容を検討していく。また、正しい課題設定の仕方、データアナリティクスと統計分析に関する基礎知識などを職員自身が身に付けられるよう研修等の実施の必要性を認識。

(主な意見)

- ・トライアルを積み重ねることで、良いツールに出会えると思うので、各課に協力をお願いしながら継続して進めていきたい。

【次第5について】

特になし。